

市の現状と課題を学習

松浦生活学校

賢い消費者になるための学習を重ねているグループ「松浦生活学校（廣本満子委員長）」の会員が1月18日、市役所で寺澤副市長からの講話を聞き、松浦市の現状と主要課題について学びました。

同校は、昭和53年に設立。現在は市内の主婦30人で、毎月環境問題や福祉問題などの学習や、レジ袋減らしキャンペーンやリサイクルバザーなどの活動をしています。

この日参加した19人は、寺澤副市長の話をもとにメモを取りながら真剣に聞いていました。廣本委員長は「主婦は懇話会などに行く機会が少ない。こうして直接分かりやすく説明してもらい、市の現状がよく分かり勉強になりました」と話していました。



おいしい野菜をありがとう

生産者とのふれあい給食会

御厨小学校の児童が1月26日、市内の学校給食で使われる野菜を生産、納品している農家の人と一緒に給食を食べながら交流しました。

これは、生産者に給食を食べている児童の姿を見てもらい、児童には給食に使われる食材を生産している人々を知ってもらおうと、同校が学校給食週間に合わせ実施したものです。

この日、生産者6人は1年生から4年生のクラスに分かれ、自分たちが作った食材が入っている給食を食べながら、児童からの質問に答えたり野菜作りについての話をしたりしていました。



まちの話題

Matsuura City Topics

民謡の歌声で観客を魅了

NHK「民謡をたずねて」

NHKラジオで毎週土曜日のお昼に放送されている「民謡をたずねて」の公開録音が1月16日、文化会館で開催されました。

この番組は、日本の伝統芸能である全国各地の民謡を歌い継ぐとともに、民謡を通じて地元の人々との温かい交流を目的に開催されています。この日は、事前に応募した市民など約500なおゆき人が観覧。原田直之さんなど5人の歌手が三味線や尺八などに合わせ、力強い民謡の歌声を披露し、集まった観客を魅了していました。



松浦ドックいかがですか？

松浦東高校食品科学部

松浦東高校（小川琢次校長）の課外活動クラブ「食品科学部」の生徒が1月18日、市役所を訪れ、同部で考案した「松浦ドック」を紹介しました。

昨年度同部では、パン生地にご飯を練りこんだ「ご飯パン」を考案。今年度はさらに改良を加え、松浦党の船をイメージした形のパンに、市内の業者と協力して開発したイノシシ肉のソーセージを乗せた「松浦ドック」を考案しました。生徒たちは「もちもちした食感のパンにソーセージが乗っていて、佐世保バーガーにも負けないおいしさです。販売してくれるところがあればレシピを広めたいです」と話していました。試食した寺澤副市長は「これはおいしい」と絶賛していました。



男子志佐駅伝部 A、女子調川バスケが優勝

松浦市中学校合同駅伝競走競技会

松浦市中学校合同駅伝競走競技会が1月29日、笛吹ダム周回道路で開催されました。

同競技会は松浦市運動部活動活性化推進事業の一環で行われたもので、市内中学校の運動部から男子33チーム、女子21チームが出場。選手たちは、沿道からの声援を受けながら健脚を競いました。結果は次の通りです。

【男子の部 (9.8*キロ)】 ①志佐駅伝部A 32分14秒 (大会新)

②御厨陸上 34分16秒

③福島野球部A 34分29秒

【女子の部 (7.5*キロ)】 ①調川バスケ 31分24秒

②御厨バスケットA 31分30秒

③福島テニス部A 31分39秒



育英会財産を寄付

財団法人中島徳松育英会

福島町の財団法人中島徳松育英会(志水勝輔理事長)が1月27日、解散に伴う財産を市に寄付しました。

同育英会は、中島鉱業株式会社の創業者、故中島徳松氏が生前従業員子女の教育に熱心であったことから、故人の遺志を継承するため創設。今回、新公益法人制度の施行により同育英会を解散することになり、財産を市の奨学金貸与事業である松溝奨学基金として使用してほしいと寄付したものです。

この日、市役所を訪れた志水理事長は、寄付財産などを記載した目録を友広市長に手渡しました。



長崎がんばらんば国体の成功を願い

第69回国民体育大会松浦市準備会

平成26年に本県で開催される第69回国民体育大会「長崎がんばらんば国体」に向けた松浦市準備会が1月31日、市役所市民ホールで行われました。

同国体は、平成26年9月から10月に開催予定で、本市では正式競技として「なぎなた競技」が、デモンストレーションとしてのスポーツ行事(通称デモスポ行事)として「ソフトバレーボール」が行われる予定です。

準備会には、市議会や市体育協会、市観光協会、自治会連合会などの代表のほか、市の関係各課長が出席。市の国体準備室担当者から、長崎国体の概要や各県から参加



する選手団の想定人数、国体開催までの今後のスケジュールなどが説明されました。出席者からは、国体の成功に向けて市全体で取り組まなくてはならないとの意見などが出されました。

今年の豊作を願って種まき

松浦葉たばこ生産組合

松浦葉たばこ生産組合(田中利之組合長)が2月1日、御厨町の組合共同育苗ハウスで葉タバコの種まきを行いました。

種まきには、同組合員や江迎町・鹿町町の生産農家約20人が参加。1ミリの小さな種を水に混ぜ、500平方センチのハウスに敷き詰められた苗箱にじょうろでまいていきました。

まかれた種は、20日程度育苗した後、組合員がそれぞれ持ち帰り、栽培ポットに移植。3月上旬に畑に定植し、5月中旬から収穫する予定です。

この日は、鷹島町の鷹島葉たばこ生産組合も種まきを行いました。

